

令和3年4月15日

◎西森委員長 ただいまから、危機管理文化厚生委員会を開会いたします。

(9時59分開会)

御報告いたします。昨日、大石委員から要請のありました、「児童養護施設等における、新卒者の進路の状況について」の資料が執行部から提出されましたので、お手元にお配りしてあります。

本日の委員会は、昨日に引き続き、「令和3年度業務概要について」であります。

《公営企業局》

◎西森委員長 それでは、日程に従い、公営企業局の業務概要を聴取いたします。

業務概要の説明に先立ち幹部職員の紹介をお願いいたします。

(局長以下幹部職員自己紹介)

◎西森委員長 続いて、公営企業局長から総括説明を受けます。なお、局長に対する質疑は、各課長に対する質疑と併せて行いたいと思いますので御了承願います。

(総括説明)

◎西森委員長 それでは続いて、各課長の説明を求めます。各課長の説明は、適切かつ簡潔をお願いをいたしたいと思っております。また各委員も、簡潔な質疑をよろしくをお願いをいたします。

〈電気工水課〉

◎西森委員長 まず、電気工水課を行います。

(執行部の説明)

◎西森委員長 質疑を行います。

◎依光委員 ダムの関係の収益が、令和3年度で9,000万円上がっているということですが。これまで、発電を止めていろいろとずっと更新をしていたと思っておりますけど、機器の更新や豪雨対策は、大体もう終わってきたという認識でいるのか。

◎三宮電気工水課長 まだ十分ではありませんので、引き続き大規模なことを、これから計画し、精度を上げて修繕、改良などを行っていく考えでございます。

◎依光委員 竹崎次長が手段も詳しくて、土木事務所にもいらっしゃったので、直さなければいけないところはしっかり直していただきたい。次長が土木事務所の所長をやられていたときに大変な豪雨災害があって、ゲートの開け閉めをいい形でやっていただいた記憶があります。今、ちょうど堆積土砂をどんどん取っているところなんですけど、ぜひ土木部とも連携していただきたいと思っております。

それと、カーボンニュートラルの時代になってきていて、電気事業会計は4億円くらいの収益がある一方で、特に、香美市には3つのダムと風力発電がありますが、今、永瀬ダムの関係で大きい車両がどんどん通るので、ダムに対するイメージはよくないんじゃない

かと勝手に思っているんですけど、時代的に発電のイメージをよくしていただきたいと思うので、ダムに行くとかカードがもらえたりとか、ダムカレーが食べられたりとか、何かそういうクリーンエネルギーのイメージアップみたいなことはできないでしょうか。

◎三宮電気工水課長 確かに私どもの一番弱いところで、PRの不十分さは常々痛感しております。ほかの県は地域のダム周辺の皆様と色々なイベントとか交流の企画もしておりますので、そういうことをなかなか十分にできてないところがありますけれども、その辺については工夫しながら十分に検討させていただきたいと思います。

◎依光委員 最後に。ITとかAIというところで、土木部の話になるかもしれませんが、ダムにおいては洪水予測などいろんなことをしながら、それに伴って発電を行っていると思います。例えば気象条件などを見ながら発電予測ができるとか、何かそういう新技術、デジタル化に関することで新しく最近変わったこととかあるのでしょうか。

◎三宮電気工水課長 時代とともに、国の制度とか電力会社も含めて発電ダムにおいても、いろいろ情報の分析とか予測とかいうものを取り入れています。我々も、令和2年度に一部、集中管理システムの更新をさせていただいて、これまで以上に皆さんに見える形でダム情報とか発電情報とかをお見せする形を取っております。所管しているダムがどうしても発電専用のダムですので、治水の流域予測まではなかなかできないのですが、国とか県の永瀬ダムのシステムも使いながら積極的にそういう情報も出していきたいと思っています。

◎大石委員 鏡川工業用水で管路の更新の予算が出てますけど。8割以上が未更新の中で今回の区間を選ばれた理由は何ですか。ハブになっているところまで引き込むんですか。

◎三宮電気工水課長 これまでの在り方の検討なんかも踏まえて、試掘調査をしながら管路の状態を確認してまして、枝分かれのところは当然ありますが、今回、筆山の配水池からすぐ下りて北高見から竹島の一番の排水管のメインのところの状態が非常に悪いという結果が出てますんで、その部分を取りあえず、この10年ぐらいかけて経営戦略も立てて工事しようということでございます。

◎大石委員 そういう中でダウンサイジングなども図っていくということで、高知市と十分話し合いをしないといけないんじゃないかという議論があったと思うんですけど、令和3年度は高知市と協議を行ったりするのでしょうか。

◎三宮電気工水課長 令和2年度の基本設計の中でもダウンサイジングの検討は一定させていただいたんですが、どうしても配水管のメインの管路でございまして、ユーザーが一斉に使った場合、一部の末端のユーザーに条例で決まってる最低の水圧が確保できないという結果もございまして、本当はサイズも減らしていきたいところなんですけど、今回は同じ口径700でいかにざるを得ないのかなというところでございます。高知市との連携については、ちょっとそこも弱いところでございますけど、引き続き情報交換などを継続的にさ

せていただきたいと思います。

◎大石委員 最後になりますけど、香南も、それから鏡川も、利用率を上げることを常に課題で背負われて大変だと思うんですけども、今年度どういう目標を立てて営業活動を行うのかお伺いしたいと思います。

◎三宮電気工水課長 鏡川工業用水道については、管路更新を踏まえて来年度料金改定を予定しております。そんな中で料金の値上げを御理解いただかなければいけないし、更新も当然しなければいけないということで、既存のユーザーの御理解と、給水量の確保ということで精いっぱいやっているところです。

香南工業用水道につきましては、既存の丸三産業とか赤岡の大三を目的にした給水でございまして、ほかに工業団地で水を使うのはいいんですけど、なかなか地元の排水の問題とかいろいろあって、どこまで使ってくれる企業があるのか分かりません。その辺はまた、香南市とかに情報ももらいながらになるかと思えます。一番痛いところではございません。

◎明神委員 この電気事業会計の中の地域振興費で、再生可能エネルギー利活用事業費補助金 1,000 万円を計上しておりますけれども、どこの取組に支援をする計画でしょうか。

◎三宮電気工水課長 昨日、高知新聞でも報道がありましたが、いの町の足谷川地区で、我々も平成 30 年度からいの町の可能性調査、令和 2 年度も基本設計に対していの町に補助をしてまして、令和 3 年度、実施設計に入れそうだとということで 2 分の 1 以内の助成で 1,000 万円を計上させていただいています。今、そのいの町の 1 件を想定しております。

◎西森委員長 質疑を終わります。

以上で電気工水課を終わります。

〈県立病院課〉

◎西森委員長 次に、県立病院課を行います。

(執行部の説明)

◎西森委員長 質疑を行います。

◎石井委員 当初予算の説明資料で、あき総合病院の入院が 1 日平均 225 人ということなんですけど、先ほどの最後の表で見ると何かグラフ的に 150 人とかそれぐらいに見えたんですけども、これはどういう違いがあるのでしょうか。幡多けんみん病院のほうは合ってる感じがするんですけど。

◎近藤県立病院課長 225 人は精神のほうも入ってまして、計画の表は一般の患者しか入っていないという違いがございます。

◎石井委員 コロナの影響による受診控えも含めて、大変な経営を迫られていると。黒字化に向けていろいろな形で策を打っていくということなんですけれども、コロナの影響ということで、一定致し方ないと思います。特に幡多けんみん病院なんかでいうと、これか

らワクチン接種も含めてなくてはならない病院でございますので、黒字化を目指すのは方向性として当然なんですけれども、まだコロナの先が見通せないという中では、あまり黒字黒字というよりは、しっかりとした運営・経営に努めていただきたいと思います。病院としての機能を守っていくほうが、方向性として必要なのかなと思っています。

効果的な経費削減策の検討とか実施とかあるんですけども、ここで何が何でも7期で何とか令和7年に黒字を目指すということで、無理な、例えば賃金カットとか、どういう効果的な経費削減策を検討しているのか分かりませんが、黒字だけを目指すよりは、病院機能の強化を大事にしていきたいなと思ってるんですが、その辺どうでしょう。

◎近藤県立病院課長 まず、ワクチン接種につきましては、今、医療従事者向けのワクチン接種が順次進んでおります。あと、高齢者向けのワクチン接種につきましては、安芸市、宿毛市からそれぞれ御相談を頂いておりまして、集団接種会場にそれぞれ病院の職員が向いて、その支援をしていく用意を、今、各市と調整をしているところでございます。

あと、収支改善の話については、今、収支改善の委託を結んでいるところなんですけど、夜間看護補助体制加算という、今まで取れていなかった加算を新たに取りることにより、看護師の負担を軽減しつつ、より看護業務に集中できるといった仕組みによって収入をもっと増やすという取組を行います。一方で、もうちょっと効率よくやればこうやった費用が圧縮できるんじゃないかといった提案をコンサルタントから受けておりますので、そういったことによって費用の圧縮を図っていきたいと思っております。

◎石井委員 四万十市の市民病院も、病床が減ったりお医者さんが減ったり、診療科も脳外科とか外科とかが減っていったりしてますので、四万十市でいえば、幡多けんみん病院に対する脳外科とか外科の急性期の手術の必要なものが、今後増えていくのかなとも思います。職員のいろいろな負担もあろうかと思えますし、コロナで大変だということも含めて、いろいろな課題があろうかと思えますけれども、しっかり頑張っていただけるように応援しております。

◎橋口公営企業局長 病院現場のやる気をそぐような、無理な収支改善は毛頭考えておりません。先ほど課長も申し上げたとおり、病院につきましては診療報酬という制度があります。患者から医療費を頂くんですけども、頂くときには診療報酬という制度がありますので、そこでうまくいろんな体制を変えるとか、そういったその負担にならない形での取組によって収入が増える道がございますので、そうしたことをコンサルタントの提案なんかも入れながら努めていきたいと考えております。

◎明神委員 債務負担行為の中で、あき総合病院、幡多けんみん病院、それぞれで未収金の業務委託の採択がされておりますけれども、あき総合病院の未収金は令和2年度末でどれくらいありますか。併せて、幡多けんみん病院の未収金も令和2年度末でどれくらいありますか。

◎近藤県立病院課長 令和2年度末はちょっと手元がないので、令和元年度の分になりますが、現年度分の個人未収金でいえば、あき総合病院は2,700万円余り。幡多けんみん病院は1,900万円余りでございます。

◎明神委員 大変な額ですが、回収業務を委託することによる成果はどうか。未収金の額は下がってますか。

◎近藤県立病院課長 平成22年度からこの仕組みを導入しておりまして、今、新たに令和元年度から委託している分については回収率が25.1%、その前の平成28年度からの分は22%と。回収率は高いと思っております。

◎明神委員 未収金回収は大変でしょうが、大きな額ですから、頑張ってください。

◎依光委員 コロナのことで、看護師も非常に大変だと思います。働き方改革の中で、看護補助者の確保に向けた取組とありますけど、具体的に看護補助者というのは、資格がなくてもできる仕事なのか教えてください。

◎近藤県立病院課長 看護補助者は資格がなくてもできますので、先ほど申し上げました夜間看護補助の体制加算ということで、派遣業者をお願いして補助者的な方を新たに8人ずつ入れて、看護師の負担を軽減する仕組みを取っております。

◎依光委員 まさに夜勤をする看護師がすごく少ないというか、育児中の方などは夜勤ができないということで、逆に夜勤の方にすごく負担がかかるということもお聞きするんです。なかなか、そこを改善するのは難しいだろうなとも思うし、途中で定員は足りていてもどういった働き方なのかによって全然違うと思うんですけど、その辺り今、過度に夜勤の方に負担がかかっているとか、そういう現状はあるんでしょうか。

◎近藤県立病院課長 そこは、病棟ごとに過度に負担がかからないように看護部長を筆頭に機動的にやりくりをしているところです。

◎依光委員 働き方改革というところで、ここも進めていくしかないと思うので、いろいろなコンサルタントもそうだし、何かいろいろな機材とかで改善できる場所があれば、そういうところにもぜひ目を配っていただければと思います。要請をさせていただきます。

◎米田委員 職員の数で、県立病院課のほうで18人増員されていますが、非常勤の人も含めてですか。

◎近藤県立病院課長 まず、あき総合病院では、医師が2人、看護師が5人、コメディカルと言われる職員が2人で計9名増やしています。幡多けんみん病院では、医師が3名、看護師が2人、コメディカルが4人の計9名。それぞれ9名ずつ増やしています。

◎米田委員 両病院大変ですけど、医師を含めて確保しながらやられてるということで。引き続き今の診療体制でいくとなれば、ドクターも含めてまだこれ以上必要だというところで頑張っておられると思うのですが、そこら辺はどんな現状ですか。また、見通しはどうでしょう。

◎近藤県立病院課長 あき総合病院でいいますと、消化器内科が今1名なんですけれども、そこを複数名配置できればさらに充実するのではないかと考えております。また、幡多けんみん病院では、呼吸器内科とか眼科で常勤医師が今おりませんので、そういった科で常勤医師に来ていただければ、もっと充足するのではないかと考えております。

◎米田委員 以前病院にお伺いしたときも、大変な中で医師も先頭に立って頑張ってくれてましたが、公営企業局も連携しながらやらないと、増員を図るのは大変厳しいと思いますので、頑張る必要のある予算もつけて、ぜひやっていただきたいなと思います。

それとワクチン接種について、医療従事者に対して順次ワクチンを優先的に接種しているということですが、またその後、住民の皆さんの接種もせんとはいきませんので、そこら辺は順調に進んでるんですかね。

◎近藤県立病院課長 あき総合病院でいいますと、4月8日までにほぼ終わってしまっていて、最後4月14日に残った方を接種します。あと、今年の新採用の方がまだ終わっていませんけれども、あき総合病院の職員、希望する職員だけですので8割程度の者は終わっております。幡多けんみん病院につきましては、2回目を4月5日から4月21日の間で打つことを想定しておりますので、まだ全部終わり切ってはいませんが、あき総合病院と同様に8割の希望する職員に打つ予定となっております。

◎米田委員 忙しい中大変ですけど、ぜひ十分な接種ができるように支援をしてあげてください。

最後に、コロナの対策で、幡多けんみん病院を中心にして、去年いろんな大変だったこととか、新たな体制の強化とかも必要なところがあるのではないかと考えているんですけども、去年対策を取られてきて、経験的に今回さらにこういう手も必要であるとか、資機材も含めて、どんな対応の状況ですか。

◎近藤県立病院課長 昨年度、県からの補助金、国からの補助金をかなり頂きまして、施設整備とか機械類についてはかなり充足させていただきました。それぞれPCR装置も構えることができっておりますし、人工呼吸器も十分な数を配置できております。今年度の予算でクリーンパーテーションをあき総合病院で購入させていただこうと考えておまして、さらなる感染防止対策を行おうと考えております。現在、両病院では病床数については、安芸地域・幡多地域でそれぞれ必要な病床数は構えておりますが、さらなる拡大となった場合に、また増やすかどうかは県下全域で考えていくことだとは思っております。

◎西森委員長 私のほうから一つお聞かせいただければと思いますけど、今年度から向こう5年間の第7期の経営健全化計画というのが立てられて、経営健全化に向けた取組がされるということです。今まで1期、2期、3期、4期、5期、6期とされてきたわけなんですけれども、例えば6期の計画に対する目標があったと思うんですね。今回も、見通しというのでも立てられていますけれども、そういった、例えば6期の計画の目標に対してそれが

達成されたのかとか、そういった総括的なことはされていると思います。それで、見えてきた課題への対応ということにもなってこようかと思うんですけども、そういった計画が終わった段階での総括、またそういったものに対する報告などはなされるのでしょうか。

◎近藤県立病院課長 第7期経営健全化計画の策定に当たって、昨年度の委員会で御説明もさせていただいたんですが、この立てつけ自体が第6期経営健全化計画の総括を書いて第7期をとという記載にさせてもらってまして、第6期の総括といたしましては、収支の部分でいけば、新型コロナがなければ令和元年度も黒字に行けたんじゃないかという状況ではありました。なので、着実にいろんな指標のほうも伸びておりました。

◎西森委員長 なるほど。そうすると、計画どおりに、大体立てた計画の目標は達成されて次の計画に進んでいってるという捉え方ということですね。

◎橋口公営企業局長 様々な指標がございますので、もちろん全ての指標をクリアしてるわけではございませんが、それを一つの目安として、それぞれ確認をして、それを7期の課題として持ち越すものは持ち越してという形でやっております。収支につきましては、一旦、先ほど申し上げたように、とんとんになりそうだったんですけど、コロナの関係でまた落ち込んだというところがありますので、収支につきましてはこれから7期でもって、そこまでの水準に戻すということになります。先ほどもありましたが、何が何でも黒字化というよりも、収支が見合う形で、それに併せて中身を充実すると、そういった方向性で立てたものでございます。

◎西森委員長 質疑を終わります。

以上で、公営企業局の業務概要を終わります。

以上で、本庁の業務概要の聴取は全て日程を終了いたしました。なお、5月12日水曜日からは、出先機関等の業務概要調査が始まります。5月12日は、高知市方面の出先機関の調査であります。議事堂において午前10時開会となっておりますので、よろしく願いいたします。

これで委員会を閉会いたします。

(11時6分閉会)